

お忙しくても、約 2 分間で読めます

山内公認会計士事務所

# ハートフル・ワード (心からの言葉)

TEL 098-868-6895  
FAX 098-863-1495

## 経営者への活きた言葉

### 高齢化が進む「マザー工場」

1. 経済産業省が 5 月末に公表した「生産設備保有期間実態調査 (ビンテージ調査)」によると、調査した 23 万 7299 台の設備のうち、3 割近くが設置から 20 年を越えていた。機械の種類ごとに細かく見ると、車体部品などを作るのに使うプレス機械の 6 割、金属を削って金型や部品に仕上げる工作機械の 4 割超が「20 年選手」だ。
2. 確かに、設備機械はきちんと手入れしていれば、20 年は壊れない。日本の工場で古い設備が今なお稼働しているのは、生産現場の技術者が丁寧に機械を使っている証拠だ。数千万～数億円に上る新しい設備への投資を抑えれば減価償却費も減り、数字のうえでは企業の利益を押し上げる。それだけ見れば、モノを大切に作る美しい日本の文化が息づいているようにも見える。しかし、古い機械には目に見えないコストがかかっている。
3. 日本企業は、国際競争力に劣る要因が円高や高い法人税率などの「六重苦」にあると訴えてきた。それに加えて、設備の高齢化が電気料金や見えない人件費となって日本企業の競争力を奪ってきた可能性もある。向い風は一時期より弱まった。「明日の仕事があるか分からないのに国内投資はできない」と全否定するのは簡単だ。だが、10 年後、20 年後に競争力のある企業にするために、国内の「マザー工場」にどんな投資をすべきかを考える時期が来ている。  
(参考:「日経ビジネス」2013 年 6 月 17 日号)

### 人事・労務について

#### 社員寮が復活の兆し

1. バブル崩壊後の経費節減の動きの中で、企業の社員寮は廃止される傾向が強かった。しかし、ここ数年、寮の良さを見直し復活させる企業が続出しているという。「同じ釜の飯を食う」関係で一体感を醸成するといった人材育成効果への期待もあるようだ。社員寮の運営を通じて省エネ技術を実証し、ノウハウを蓄積するのが、新日鉄住金エンジニアリング(株)。
2. 昨年 4 月に竣工の全 230 室の北九州寮がグッドデザイン賞を受賞。特に新しい省エネシステムが高く評価された。寮の敷地内に 70 ㎡の地域共生型ガーデン「エンジ村」を設け、ブルーベリーやハーブなどの作物を栽培。地域住民とのコミュニケーションの場として活用する。

(参考:「野村週報」:2013 年 6 月 3 日号)

### ワンポイント経営アドバイス

#### 最終消費者に選ばれる存在

1. 旭硝子は昨年 10 月、B to B 企業としては初めて、W 杯向けに製品提供するライセンス契約を国際サッカー連盟 (F I F A) と交わした。F I F A として前例がない契約形態をとる。具体的には、スタジアムで選手や審判などが座るベンチを覆う、ガラス製の屋根を提供するというもの。これまで F I F A のスポンサー企業は、米 コカ・コーラや独 アディダスといった一般消費者向けの企業ばかり。
2. B to B の旭硝子がなぜそこまでするのか。石村社長は「顧客は、企業でも最終消費者に認知され、選ばれる存在になる必要性が高まっている」と言う。例えば同社は、紫外線を 99% カットする自動車向け機能ガラスを発表した。車内の温度上昇抑制や燃費改善効果といったメリットを、企業ブランドを通じて消費者にアピールすれば、採用メーカーの増加につながる。特に新興市場で新規顧客を開拓するためにも、ブランドを前面に立て「目立つ」必要がある。

(参考:「日経ビジネス」2013 年 6 月 17 日号)

## 古典に学ぶ

### 愚者の心 (その 1)

(解説) 知識を万能視する考えを断ち切れれば、悩みはなくなる。礼に<sup>かな</sup>適うといい、<sup>あかこ</sup>適わぬといっても、どれだけの違いがあろうか。善といい、悪といっても、どれだけの差があろうか。ひとがするから自分もそうする。これではドウドウめぐりで、悩みはいつまでも尽きない。人々は浮き浮きと楽しげだ。あたかも酒宴の席にあるかのよう、花見に興じているかのように。だが、わたしの心は、静まりかえって動かない。また笑いも知らぬ赤子のよう。何をしようという気も起らぬ。

(参考: 奥平卓・大村益夫訳「老子・列子」: 徳間書店)